

議会報告会報告書

令和2年8月4日

大竹市議会

議長 細川 雅子 様

B班

班長 山本孝三

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1. 開催日時

令和2年8月1日（土）

17時から18時40分

2. 開催場所

松ヶ原集会所

3. 参加人数

12人

4. 担当班議員名

班長 山本 孝三

副班長 西村 一啓

班員 網谷 芳孝

賀屋 幸治

藤川 和弘

5. 報告会次第

(1) 開会挨拶

(2) 常任委員会からの報告事項

(3) 意見交換

①共通テーマ：放課後児童クラブの民間委託について

②地区別テーマ：地域公共交通について

(4) その他のご意見

6. 常任委員会からの報告事項についての主な質疑応答

(1) GIGA スクール構想とタブレット導入

(回答した質疑)

Q：松ヶ原地区は、山間地域で沿岸地域とは違い電波環境状況が悪いのでWi-Fi環境に於いても僻地が置き去りにならないようお願いしたい。

A：教育委員会としても今後、児童生徒がタブレット端末を使ってオンライン授業を行える環境がどの程度整えられるかが課題として捉えており、早急に調査をして対応を検討するものと伺っている。

Q：Wi-Fi環境の整備が無理な場合は学校までスクールバスでの送迎は可能か？

A：そういった事も含めて今後教育委員会として対応を検討するものと思います。

(2) 主な大型事業の計画概要

(回答した質疑)

Q：河川浚渫工事の予定で松ヶ原地区はどうなっていますか？

A：市内の大きな河川である恵川・大膳川・新町川・大谷川などの土砂堆積状況等を8月末頃までに調査し、渇水期の11月頃に工事発注予定と伺っている。また、優先順位としては松ヶ原地区の河川から予定しているとのことです。

7. 主な意見交換

(1) 共通テーマ

(回答した質疑)

Q：目的と効果の内「行政と民間の役割分担による業務の効率化」について行政にとって何が業務の効率化になるのか？

A：業務の役割分担として施設維持管理等ハード部分は行政で行い、労務管理を含めた運營業務全般等のソフト面を民間で受け持つことで、効率的な業務に繋がるものと考えています。

Q：プロポーザルで業者を選定する上で現状の直営の運営内容を引継ぐのであれば「民間のノウハウを活用した運営体制の強化」とは食い違うのではないか？

A：基本的には現状の職員体制で運営していくものであり民間に代わることにより人件費も維持しながら終了時間の延長等サービス向上を図るもの

としている。仮にプロポーザルで条件に合わなければ、現状の直営を継続することになる。

Q：民間委託には反対である。自分の孫が2人いて、他市町でそれぞれ民間の児童クラブを利用していたが、指導員とのトラブルで2人とも辞めたということもあり、民間委託より直営方式の方が良いと思う。

A：子供たちは現職員に大変慣れ親しんでおり、民間委託に移行しても現職員はそのまま勤務する事になると思うので、その点での心配はないと考えます。

Q：民間ノウハウを活かして内容の充実を図るということであれば、現状の職員で民間の良いところを取り入れて出来ないのか？

A：民間ノウハウを取り入れることは、地域住民との交流を交えた地域の特色も取り入れられることや、子供たちに域内の住民との交流を通じて見守ることも出来て、大人たちとの親交が図れる。

(意見・要望等)

- ・大竹市の給食センター方式など教育委員会の取り組みは評価しているので民間委託についても利用者から「良かった」と言ってもらえるようお願いする。

(2) 地区別テーマ

(回答した質疑)

Q：この地区から高校生が通学するとしたら部活動等もあり路線バスの利用は出来ないのでは、広原地区や谷和地区のようなタクシー補助は出来ないか？

A：広原地区や谷和地区は路線バスが通っていないので生活交通手段を確保するためにタクシー補助事業があります。

高校生の通学問題については貴重な意見として承り担当部署に伝えます。

Q：路線バスの赤字補填額（約1,300万円）を松ヶ原地区のタクシー補助事業に使えるか？

A：路線バスは栗谷地区まで通っているので利用者は少ないが廃止にするとしたら慎重に検討する必要があると思います。

Q：平成26年の大竹市地域公共交通活性化協議会の中で当時から今出された様な意見は出ており、路線バスの利用は不便なので松ヶ原地区のニーズに

合った公共交通をお願いしていたが、何も進展がない。現状の路線バスの利用が期待できないなら新たな移動手段を廿日市市と共同で検討してもらえないか？（大野町11区の自治会長より）

A：市としては地元が主体的にどういう移動手段を取り入れたいかを提案して行かないと市から申し入れることはないかと思います。地元の意向を積極的に市に相談し市と協力して取り組んで頂きたい。

8. その他の主なご意見等

(意見・要望等)

・仮称「小さな道の駅」の開設計画について（東田自治会長より要望）

少子高齢化社会で過疎化に歯止めがかからない中、松ヶ原地区の活性化を図るため旧松ヶ原公民館を活用して地域の農産物販売や生活必需品販売、喫茶部等の運営を目指し、中山間地域の限界集落地域再生のための活動拠点整備を計画するものです。（別紙計画案を提示）

・議会にお願いしたいこと

- ①整備費用について松ヶ原財産区から助成（寄付金）を受けることとしているので議案上程の際には協力して頂きたい。
- ②運営費用の内、人件費の一部を市より支援して頂けるよう助言して頂きたい。
- ③国・県等の助成や補助金制度が適用されるよう事業への協力をお願いしたい。

(回答)

A：要望の主旨は理解しました。

具体的に議会として出来ることとしては正式に陳情書又は請願書を提出して頂き、採択することで協力できるかと思います。

9. 気づきや反省点

なし